

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月18日更新

事務事業名		ことば教育推進事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	安武 祐次
	施策	20	義務教育の充実			所属課	学校教育課	担当者名	吉川 良二
	基本事業	60	学力の向上			所属班	学務指導班	(内線)	2221
予算科目		会計一般	款 10	項 1	目 3	事業連番 11582	法令根拠	成果優先度評価結果 : ② コスト削減優先度評価結果 : ①	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 24 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	市民提言による本事業は、学力向上をめざす授業改善のための基礎的、基本的な知識・技能を習得するために、ことば教育を学校教育に導入するものである。児童生徒を取り巻く言語環境は、近年マスメディア等の影響でよい環境とは言い難い。本年度から全面实施されている新学習指導要領では、言語に対する関心や理解を深め、言語に関する能力の育成を図る事が強調されている。そのため、本事業を通して、児童の思考力、判断力、表現力等が育まれることが期待できる。
【業務の流れ】	学校生活の様々な場面で、「ことば」を意識した教育活動を実践していく。
【主な予算費目】	報償費、消耗品費、印刷製本費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	児童生徒によるあいさつや言葉遣いに対する市民の関心は高い。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	児童の思考力、判断力、表現力等を育くむための専門家(元アナウンサー)による授業、ポエムコンクールの実施	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		小中学校の教育活動の中で言語活動として朝の活動及び教育課程に位置づけられた国語を中心に、様々な教科領域に位置づけて実践する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ アイ	ことば教育実施回数 週1回	ポエムコンクール入賞人数増加のための増
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
小中学校児童生徒	人	→ アイ 児童生徒数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
児童生徒の言語活動の向上に資する。	%	→ アイ 言語環境の整った児童生徒の割合
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
言語環境が整うことで、児童が居心地のよい学校となることから、言語環境の整った児童の割合とした。		全体計画
		~ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	28年度予定	29年度見込	30年度見込
①活動指標	回数	回	35	35	35	26	35	35	35	35
②対象指標	人数	人	5,640	5,849	6,040	6,040	6,192	6,358	6,520	6,670
③成果指標	割合	%	100	100	100	74.3	100	100	100	100
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	857	676	832	532	849	1,093	1,093	1,093
	(A)事業費計	千円	857	676	832	532	849	1,093	1,093	1,093
人件費	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	1	1	2	0	2	2	2	2
延べ業務時間	時間	100	190	30	0	30	30	30	30	
(B)人件費計	千円	407	756	119	0	119	119	119	119	
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,264	1,432	951	532	968	1,212	1,212	1,212	

事務事業名	ことば教育推進事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	-----------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 各学校で「ことば教育」担当者が選任され、先進校視察結果等を活用しながら、言語活動に視点をのいた活動が推進されている。
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 「ことば教育」に関する活動の場が、教育課程にも位置づけられてきており、次年度もより一層深まりのある取り組みを行うことが十分に推察できる。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 前年度の山口・萩視察研修に引き続き、本年度は広島県呉市視察にて、「言語活動」に関する研修を深めた。研修成果を合志市の小中学校の取り組みに活かすことで、成果が向上すると考えられる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 「ことば教育」も「学力向上」を目指したものであるが、市教育委員会の重点取り組み事項として取り組むことで意識の高まりが得られる。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 回数を削減していくことは可能である。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 学校教育活動の一環として実施している事業であり、「ことば教育」は重要であり削減できない。教育課程の一部であり、外部委託はできない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 児童・生徒に関わるものであり、一部の受益者には偏っていない。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市内の小・中学校に対しての事業であり、その取り組みについては教師主導でおこなう専門性が必要なため、地域の方々には補佐的な役割での参加であれば可能である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

新学習指導要領では学校教育活動全体にわたって「言語活動」の充実があげられている。「ことば教育」の実践により、教師、児童生徒、保護者が「ことば」をより一層意識した教育に取り組むことができている。豊かな心や表現力の育成に欠かせないものであり、学力の確実な定着にもつながっている。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						